

南6病棟  
泌尿器科・腎臓内科

# 泌尿器科

結石

がん

感染

腎臓・尿管・膀胱・前立腺・精巣などの尿路系疾患を対象にしており、外科的治療に加え、化学療法・免疫療法・内分泌療法・分子標的薬物療法・放射線療法を組み合わせた集学的治療を実施しています。

# 泌尿器科の看護

悪性腫瘍に対する網羅的な治療の看護に加え、退院後の生活を視野に入れたストマケアの指導や、ターミナル期の患者・家族に対する個別性に合わせたケアを行っています。

# ストーマ装具交換の指導



尿をためる袋を  
定期的に交換します

尿の通り道が  
お腹にできます

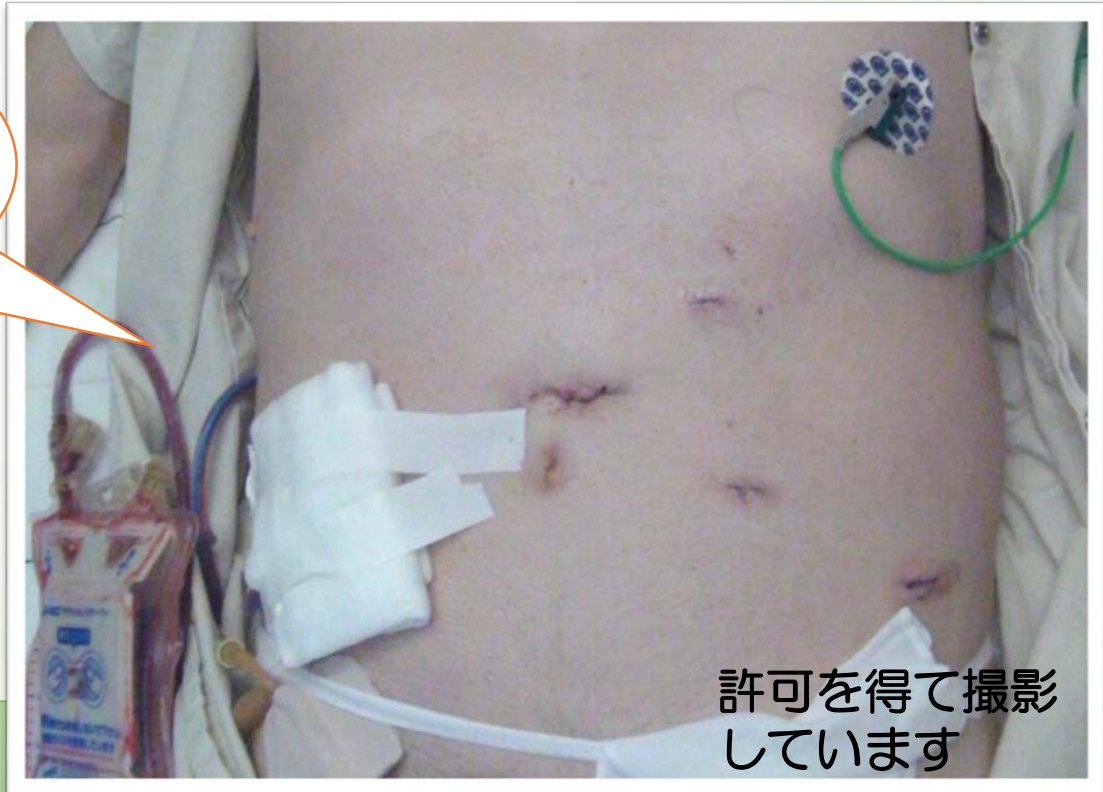


許可を得て撮影し  
ています

尿路変向患者さんのストーマ管理の指導を行っています

# 泌尿器科手術後の管理

傷跡が小さく、  
抜糸もありません



許可を得て撮影  
しています

外科病棟であり手術が多いです。  
かつては開腹で行っていた手術も腹腔鏡やロボット  
を使った術式で行うことが増えています。

# 腎臓内科



- 腎炎、ネフローゼ、腎不全患者の診断・治療を対象としています。
- 腎生検、シャント造設術、血液透析・腹膜透析を行う患者さんに対し、術前・術後の指導や生活環境を考慮した指導を行っています。
- 慢性腎臓病の患者さんに、少しでも腎臓を守り病状が進行しないように腎臓教育を行っています。

# 透析について

慢性腎不全の治療法は①腹膜透析②血液透析③腎移植です。  
血液透析は透析室、腹膜透析は主に病棟で管理しています。

## 腹膜透析とは・・・

腹膜内に透析液を注入し、自らの腹膜を透析膜として用いる透析方法。  
手術で腹腔内に留置したカテーテルから透析液を注入し、6～8時間経過した後に取り出して新しい透析液を注入します。

患者さんのライフスタイルに合わせて選択できます。

手動的に  
1日に複数回  
実施するCAPD

夜間、機械を使って  
自動かつ持続的に透析を  
行うAPD

## [患者指導]

腹膜透析の基礎知識と自己管理の必要性を理解していただけるよう指導を行っています。



透析導入となった患者はボディーイメージの変容、生涯透析が必要になることなど精神的負担を伴うため、心のケアにも力を入れています。







# 若手職員紹介

●京大 花子さん

●入職2年目、泌尿器科・腎臓内科

●主な仕事内容

- ・手術・化学療法・放射線治療等の看護
- ・ウロストーマ装具交換、自己導尿指導
- ・腎生検の介助
- ・腹膜透析手技指導
- ・入院中の患者のADL介助、終末期患者のケア



## 日勤の一日の流れ

- 08:00 ● 始業、情報収集、全体申し送り
- 09:00 ● ラウンド、採血、保清、化学療法等実施、腎生検介助
- 13:30 ● 昼休憩後、カンファレンス
- 14:00 ● 午後のラウンド、術後管理等
- 16:45 ● 終業
- 17:30 ● 帰宅、夕食
- 19:00 ● 入浴、自由時間
- 23:00 ● 就寝

## 仕事をするうえで大切にしていること

透析導入のため入院の患者、周術期の患者や、終末期の患者まで様々な対応が必要となるため、タイムマネジメントや優先順位をしっかりと考えることが大切です。多重業務の中でも患者の思いを傾聴し、患者や家族、医療者が協力して治療に臨むことができるよう日々努力しています。高齢者がガストーマを造設することも多いため、入院時から個々の能力を考慮し、退院に向けて支援を行ったり、本人の生活や思いに合わせた装具を選択しています。

## メッセージ

スタッフは皆明るく優しい病棟です。また、困ったことがあってもすぐに相談でき、丁寧に教えてもらえる環境です。少しでも興味を持っていただけると嬉しいです！